DAINICHI

ハイブリッド式加湿器（家庭用）
［温風気化/気化式］

エイチ　ディー－　　エイ
HD-500A
取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

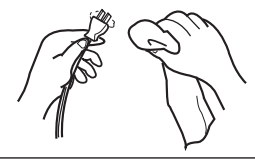
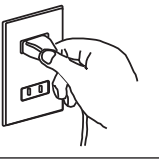
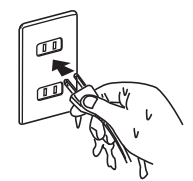
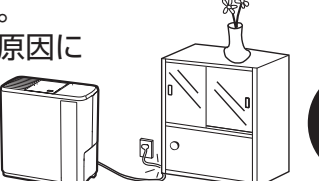
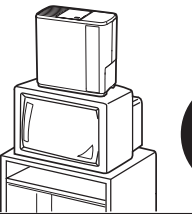
製品アンケートへのご協力をお願いします

PC http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
携帯 http://www.dainichi-net.co.jp/mhd/

※ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のメールアドレスなどの入力が必要です。
通信料などはお客様のご負担となります。

目次

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日・製造番号・販売店」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の２段階に区分しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。

このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠警告（WARNING）

分解・修理・改造の禁止
お客様自身による分解・修理・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない
タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

本体に異物を入れない
吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。
感電やけがの原因になります。

異常時（水漏れ、コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま使用を続けると火災・感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・けが・感電の原因になります。

運転停止直後（約１分間）は、ヒータ周辺に触れない
やけど・けが・感電の原因になります。

本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない
有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

お手入れする際は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

⚠警告（WARNING）

電源プラグのお手入れをする
ときどき電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重いものをのせたり、束ねたり、曲げたまま使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

⚠注意（CAUTION）

使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
火災・感電の原因になります。

加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
しみが付いたり、変形するおそれがあります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
転倒すると水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

水道水以外は使用しない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用するとカビや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・割れ（水漏れ）・故障の原因になります。

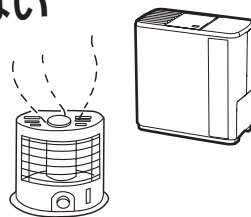
不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない
水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

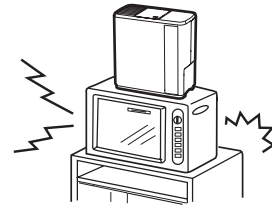
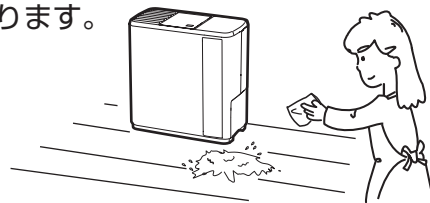
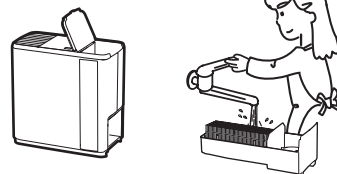
吸気グリル・防カビフィルターを外したまま使用しない
性能が発揮されず、故障の原因になります。

安全のために必ずお守りください

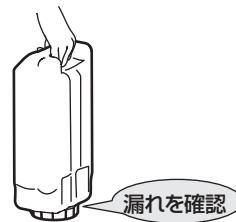
お願い(NOTICE)

吹出口や吸気グリルをふさがない
吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。

直射日光のあたるところや暖房器具の上や近くに置かない
タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形・変質するおそれがあります。

こまめにお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かない
正常に作動しないときがあります。

本体下部や床を時々清掃する
水がこぼれたまま放置すると、床を傷めるおそれがあります。

本体内部には直接水を入れない
トレイに直接水を入れたりしないでください。故障の原因になります。

使用しないときは水を捨てる
長期間使用しないときは、タンク・トレイ内の水を捨ててください。水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

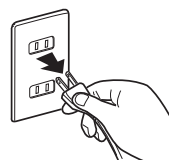
タンクを入れたまま移動しない
移動するときは、必ずタンクを取り出し、取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

水漏れ確認
タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。
水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

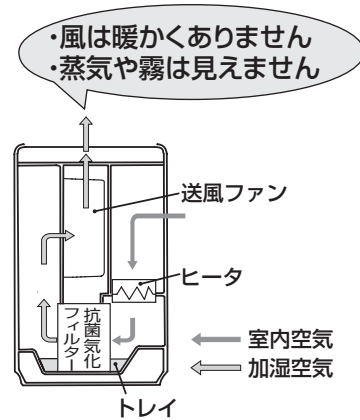
湿度の高いところ(85%以上)では使用しない
故障の原因になります。

トレイ内の水を飲まない・飲ませない
体調不良の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない
故障の原因になります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く
長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

特長

1 ハイブリッド式(温風気化/気化式)

ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。
「温風気化式」でも、温風は抗菌気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は、暖かくありません。

2 静音設計

運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 抗菌気化フィルターは３シーズン使用可能

抗菌気化フィルターは、月に１回クエン酸洗浄を行うと３シーズン(クエン酸洗浄なしでは１シーズン)使用できます。14ページ 16ページ

4 お好みに合わせて選べる運転モード

①標　　準：お好みの湿度設定に合わせて加湿したいときにおすすめします。
②省　エ　ネ：消費電力を抑えて加湿したいときにおすすめします。
③静　　音：運転音を抑えて加湿したいときにおすすめします。

5 温湿度センサーによる自動運転

お部屋の湿度を素早く感知し、湿度に合わせて自動的に加湿量を調節します。

6 抗菌機能搭載

①抗菌気化フィルター：抗菌※1・防カビ※2加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
②防カビフィルター：防カビ※3加工を施し、お部屋の空気から捕らえたカビの繁殖や活動を抑えます。

	※1	※2	※3
試験機関	一般財団法人　ボーケン品質評価機構		
試験方法	JIS Z2801に準拠	ハロー法	JIS Z2911に準拠
抗菌・防カビの方法	気化フィルターに抗菌剤を含浸	気化フィルターに防カビ剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	抗菌気化フィルター		防カビフィルター
試験結果(試験番号)	99.9%の抑制を確認(027414-1)(027414-2)	抑制を確認(027414-3)	抑制を確認(002720)

7 蒸気や霧は見えません

抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません(風は暖かくありません)。

加湿量について

室内の湿度や温度の条件により加湿量は変わります。
次のときには加湿量が少なくなります。
○雨の日など、湿度が高いとき
○室内の温度が低いとき

各部のなまえ

外観図

前面

タンクカバー 7ページ 8ページ 14ページ

操作・表示部 6ページ

点 タンク 7ページ 8ページ 13ページ 14ページ

タンクキャップ 7ページ 8ページ

点 抗菌気化フィルター（消耗部品） 14ページ

ヒータ部 1ページ

水量確認窓 12ページ

点 トレイ 14ページ

フロート 14ページ

背面

吹出口 7ページ

点 防カビフィルター（消耗部品） 13ページ

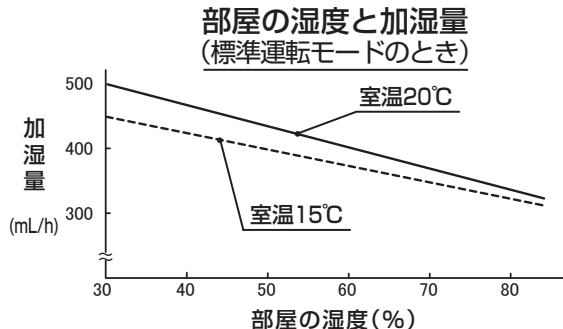
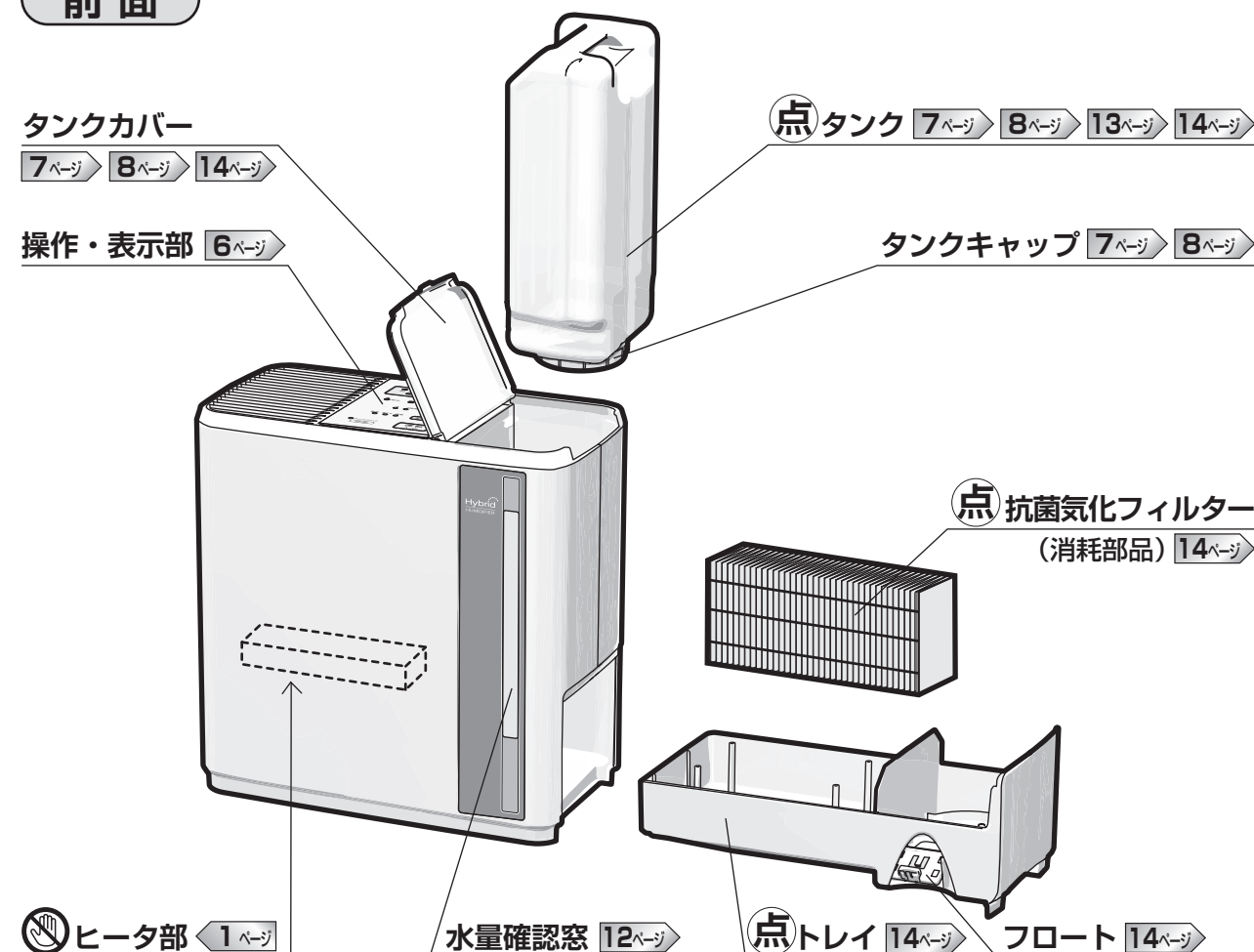
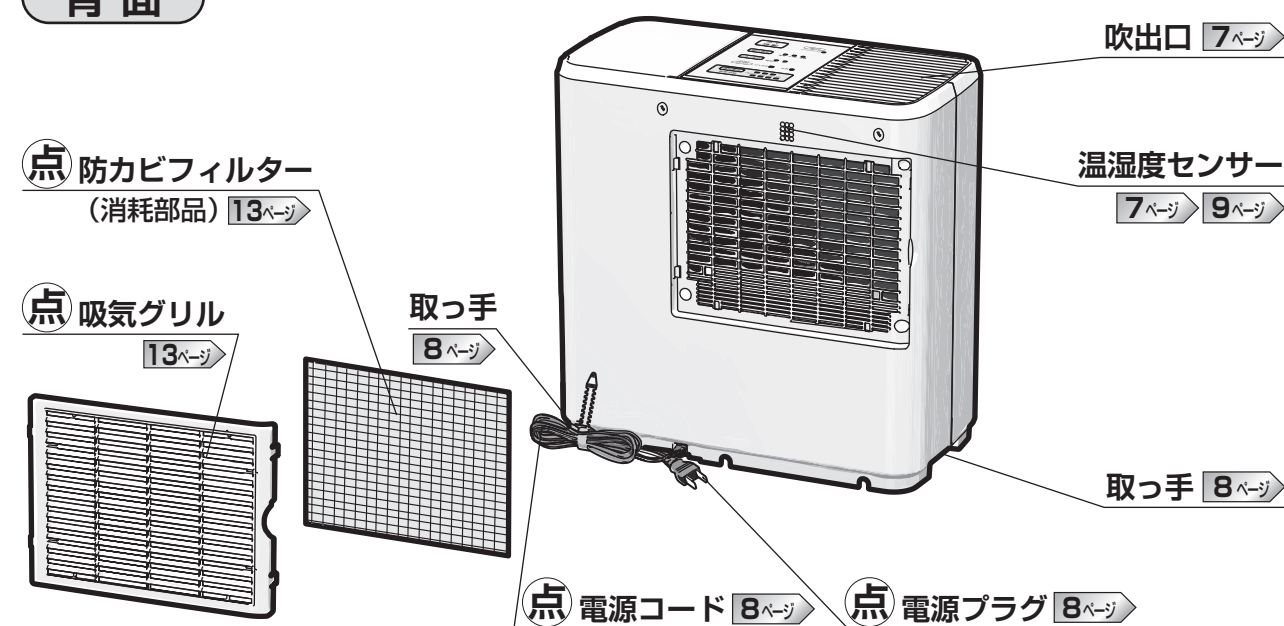
温湿度センサー 7ページ 9ページ

点 吸気グリル 13ページ

取っ手 8ページ

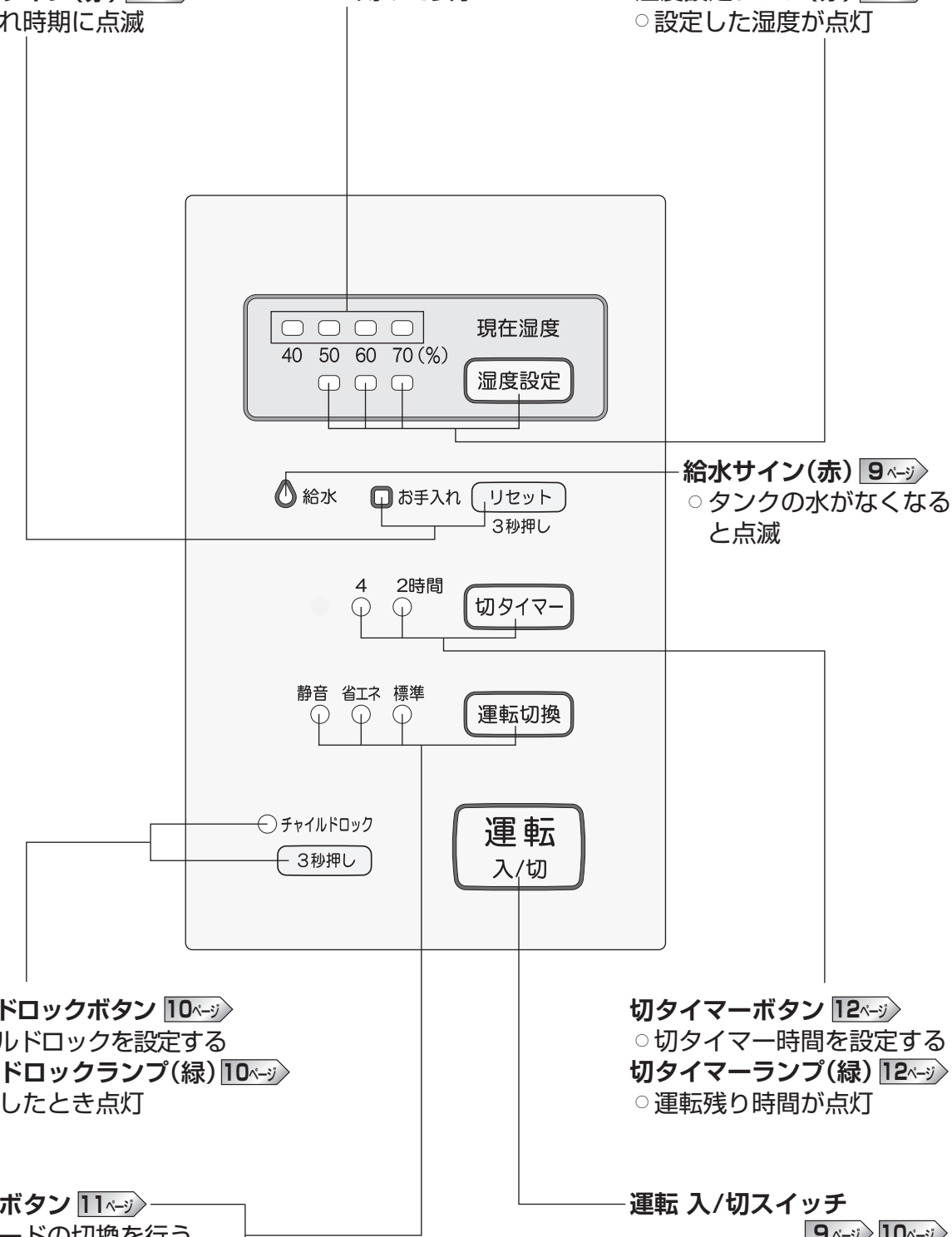
取っ手 8ページ

点 電源コード 8ページ

点 電源プラグ 8ページ

（高温マーク）運転中高温になる部分（ご注意ください）

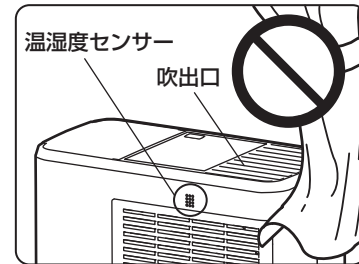
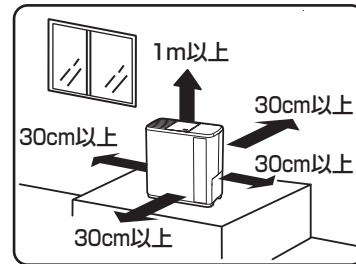
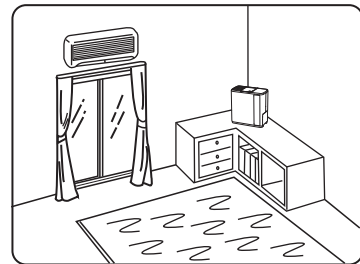
点 点検・手入れが必要な部分

操作・表示部

操作部

使用する場所・使用前の準備

効果的に加湿するために

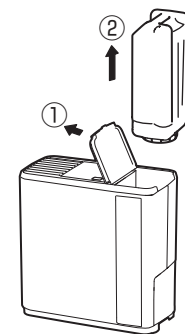
設置場所

○直射日光やエアコン・暖房機の温風があたらないところに設置してください。また、冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。
○設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。部屋の空気の循環をよくして使用してください。
○水平で丈夫な場所に設置してください。
○図の範囲内に物を置かないでください。
○カーテンなどが吹出口や背面の温湿度センサー部をふさがないように設置してください。

使用条件（室温と湿度）

○室内温度は0～40℃、湿度は20～85%で使用してください。

運転開始前の準備

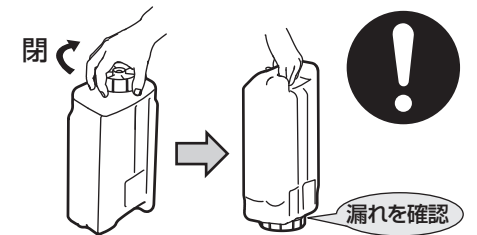
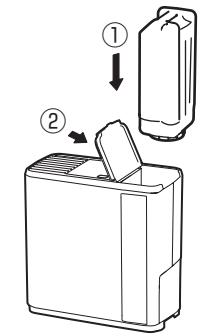
タンクに給水する

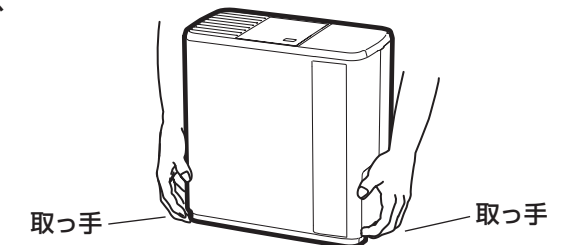
1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 タンクキャップを外す

○外したタンクキャップにごみ・糸くず・ほこりなど付着しないように注意してください。

3 タンクを振り洗いしてから、水道水を口元までゆっくり給水する

4 タンクキャップを確実に閉める

○タンクについた水は完全にふき取ってください。
○タンクキャップを下にしたとき水漏れがないことを確認してください。
※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

5 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

移動するとき

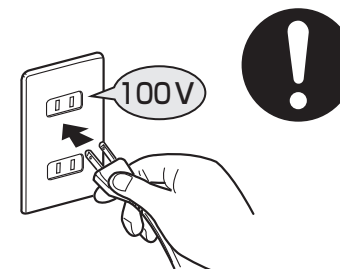
○必ずタンクを取り出し、両手で取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

メモ

○タンクをセットして、初めてご使用のときに抗菌気化フィルターの顔料が色落ちすることがありますが、異常ではありません。また、顔料は無害で人体には影響ありません。
気になる方は抗菌気化フィルターを水洗いしてください。

お守りください

○40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・汚れた水などは使用しないでください。変形や故障の原因になります。
○ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは入れないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。

電源コードを接続する

電源プラグをコンセント（100V）に差し込む。

お守りください

○家庭用電源以外では使用しないでください。
動作異常や予想しない事故の原因になります。
○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す
運転停止中に

点灯

○運転を開始し、現在湿度を表示します。

＜加湿運転中の表示と動き＞

		加湿方式	運転モードランプ	送風ファン
加湿中	温風気化式	点灯	回転
	気化式	点灯	回転
加湿停止中		点灯	停止

※十分な加湿が得られているときは、加湿を停止する場合があります。
※室内温度が高いときや低いときは、現在湿度が設定湿度よりも低いときでも、温風気化式で運転をしないときがあります。

現在湿度表示について

湿度表示は目安としてお使いください。
○本体内部の温湿度センサーで検知した湿度を表示します（表示湿度は、40〜70%）。
○湿度が40%以下のときは、現在湿度は40%を表示します。
○運転を開始してから安定するまで約５分間かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。
○現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、一致しないことがあります。
（湿度計には大きく分け「バイメタル式（針表示式）」と「電気式（デジタル式･･･本加湿器採用）」の２つの方式があります。方式により検知速度が違うため、同じ場所に置いても湿度表示に差が出る場合があります。詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。裏表紙）

給水の合図

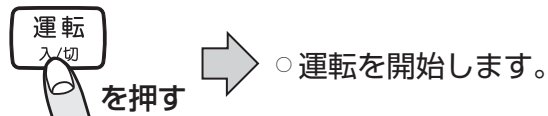
1. 加湿運転中にタンクの水がなくなると給水サイン（赤）が点滅し、お知らせします。

○約50秒間送風後、運転を停止します。

※給水サイン（赤）が点滅したときにタンクの中に少量の水が残っていることがありますが、異常ではありません。

2. 運転 入/切スイッチを押してください。
○給水サイン（赤）が消灯します。

3. タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、運転 入/切スイッチを押すと運転を開始します。

○運転を開始します。

メモ

○タンクを入れてからトレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに１〜２分かかります。
○初めてご使用のときは、ヒータ（ニクロム線）が発熱した際に、吹出口から防錆油の焼ける臭いがすることがありますが、人体には影響ありません。しばらくの間、お部屋の換気をしながらご使用ください。１時間ほどでおさまります。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す
運転中に

消灯

○すべてのランプが消灯します。
○約50秒間送風後、停止します。

メモ

○本体が転倒したときは、運転を停止して現在湿度表示が点滅します。このとき送風ファンは回りません。16ページ

お守りください

○運転を停止しても、運転停止後約50秒間は本体内を冷やすため送風ファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

小さいお子さまのいたずら操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセット・解除できます。

チャイルドロックをセットする

○チャイルドロックランプ（緑）が点灯します。
（チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります）

チャイルドロックを解除する

○チャイルドロックランプ（緑）が消灯します。

メモ

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください

標　　準：湿度設定に合わせて自動で加湿量を調整し、運転します。
省 エ ネ：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。
静　　音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。
（「省エネ」と「静音」モードは、最大加湿量が少なくなり、お部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなることがあります）

運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります
加湿運転中に

を押す

○選んだ運転モードランプ(緑)が点灯します。

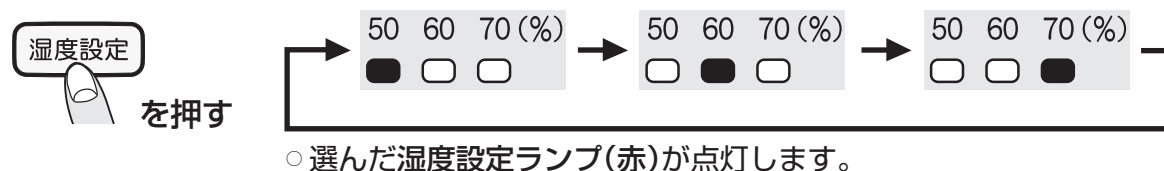
○初めてご使用のときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、「標準」運転モードになります。運転モードを変えたいときは再度、設定してください。

湿度設定をするとき

お好みの湿度に設定してください

湿度設定ボタンを押すごとに設定湿度が切り換わります
加湿運転中に

を押す

○選んだ湿度設定ランプ(赤)が点灯します。

メモ

○初めてご使用のときは、湿度設定は「50%」に設定されています。
○湿度設定を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「50%」、乾燥が気になるときは「60%」または「70%」に設定してください。

切タイマー運転を使用するとき

切タイマー運転をセットする

一定時間で運転を終わらせたいとき

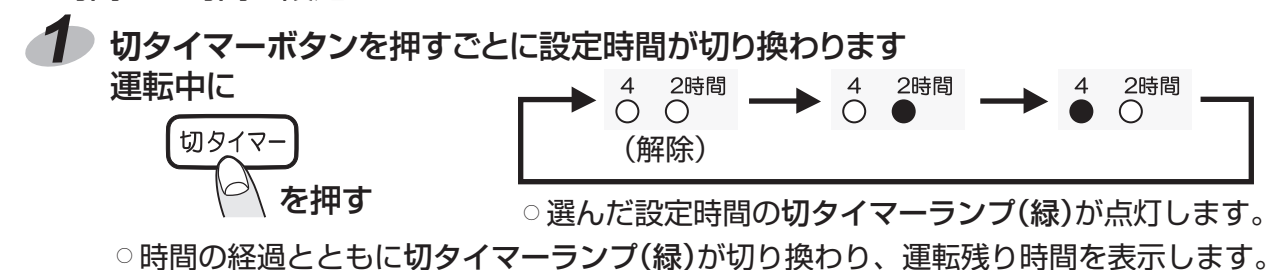
4時間、2時間の設定ができます。

1 切タイマーボタンを押すごとに設定時間が切り換わります
運転中に

を押す

○選んだ設定時間の切タイマーランプ(緑)が点灯します。
○時間の経過とともに切タイマーランプ(緑)が切り換わり、運転残り時間を表示します。

運転残り時間の表示について

4 2時間 ○残り時間が4～2時間です。 時間が経過すると 4 2時間 ○残り時間が2～0時間です。

2 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します
○すべてのランプが消灯します。
○約50秒間送風後、停止します。

メモ

○設定後に切タイマー時間を変えたいときは、もう1度 **1** を行なってください。新たに合わせた時間から切タイマーが作動します。
○切タイマー運転を設定するときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水サイン(赤)が点滅して運転を停止します。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを切タイマーランプ(緑)が消灯(解除)するまで押す
切タイマー運転中に

を押す

メモ

○切タイマー運転で停止したときは、切タイマーボタンを押しても運転は再開しません。再度、運転 入/切スイッチを入れてください。

お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします

運転時間にかかわらず、電源プラグをコンセントに差し込んでから2週間後に、お手入れサイン(赤)が点滅します。運転を停止させお手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルター、トレイのお手入れをする
お手入れのしかたは、14ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

2 お手入れリセットボタンを押し、お手入れサイン(赤)を解除する
お手入れが終了したら

を約3秒間押す

○お手入れサイン(赤)が消灯しリセットされます。

お手入れのしかた

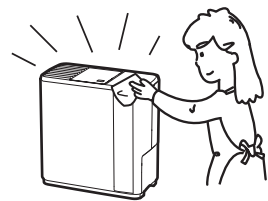
お守りください

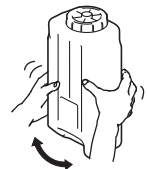
○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。

○お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

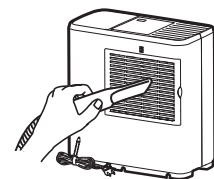
ご使用のたびに

本体のごみやほこりをふき取る

○柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
○変質や変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・漂白剤などは、使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

タンク内をきれいにする

○タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。

週に１回程度

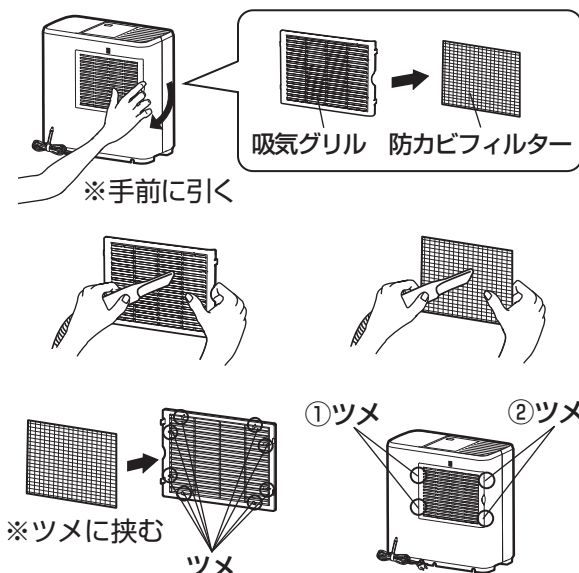
吸気グリルのお手入れをする

掃除機などで吸気グリルのほこりを取る。

吸気グリルの汚れがひどいとき

1. 吸気グリルを外し、防カビフィルターを取り外す。

2. 吸気グリル、防カビフィルターは掃除機などでほこりを取る。

3. 吸気グリルに防カビフィルターを取り付ける。
※防カビフィルターは吸気グリルツメ(8箇所)に挟むように取り付ける。

4. 吸気グリルを本体に取り付ける。
※吸気グリルは①のツメ(2箇所)を本体の穴に差し込んでから②のツメ(2箇所)を差し込む。

お守りください

○吸気グリルの汚れがひどくなると雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、こまめにお手入れしてください。

お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター、トレイのお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイに水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので必ずお手入れしてください。

1 タンクカバーを開けタンクを取り出してから、トレイを引き出す

2 トレイから抗菌気化フィルターを取り出し、お手入れする

○水洗い後、柔らかい布で汚れをふく。
○吹き出す風が臭ったときは当社指定の洗剤で洗浄する。
○お手入れの2回に1回(1カ月に1回程度)はクエン酸で洗浄する。
※洗浄のしかたは、下記「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。

3 トレイの水を捨て、トレイをスポンジなどで水洗いする

4 抗菌気化フィルターをトレイに取り付ける

※抗菌気化フィルターはトレイの凸部にそって入れてください。

5 トレイを入れてからタンクをセットし、タンクカバーを閉める

※トレイは奥まで確実に入れてください。

6 お手入れサイン(赤)を解除する 12ページ

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. ぬるま湯(40℃以下)にクエン酸または指定の洗剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。

用　途	洗浄剤	使用量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	1.5Lあたり約10g（大さじ１杯）※1	約30分～2時間 ※2
吹き出す風が臭ったとき	当社指定の洗剤(粉末)※3「花王:ワイドマジックリン®」	1.5Lあたり約13.5g（大さじ１杯半）	約60分

○クエン酸と指定の洗剤を一緒に入れないでください。

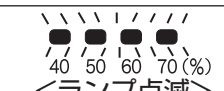
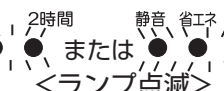
※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。
※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。
※3「ワイドマジックリン®」は、花王株式会社の登録商標です。

2. 新しい水でしっかりすすぎ洗いする。

※クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

メモ

○抗菌気化フィルターはクエン酸洗浄しないで使用を続けると寿命が１シーズンと短くなります。(１シーズン６カ月、１日８時間運転、水道水の硬度 50mg/L(全国平均値)の場合) 16ページ
○クエン酸は薬局・薬店・ホームセンター・インターネットなどでお買い求めください。17ページ
○クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に１度ご確認ください。

症　状	原　因	処　置　方　法
給水サイン(赤)が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水してください。7ページ 9ページ
タンクに水が入っているのに給水サイン(赤)が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置してください。7ページ
	トレイが確実に本体に入っていない。	トレイを確実に本体に入れてください。14ページ
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除いてください。14ページ
	運転 入/切スイッチを押し直していない。	運転 入/切スイッチを押し直してください。9ページ
蒸気が見えない	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、蒸気や霧は見えません。	異常ではありません。4ページ
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。10ページ
	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水してください。7ページ 9ページ
運転中なのに風が出ない(加湿しない)	お部屋の湿度が設定した湿度以上になっているため、加湿を止めています。	異常ではありません。9ページ
風は出ているのに、タンクの水が減らないまたは風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをしてください。13ページ
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。14ページ
風が冷たい	水が気化するとき熱が奪われるので、風は暖かくありません。	異常ではありません。4ページ
現在湿度が設定湿度より高い、または現在湿度表示が70%以下にならない	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなることがあります。	設置場所をご確認ください。7ページ
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止してください。9ページ
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所をご確認ください。7ページ
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。9ページ
運転切換ができない	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水してください。7ページ 9ページ
切タイマー運転ができない		
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。17ページ
	「省エネ」、「静音」モードになっている。	「標準」モードでお使いください。11ページ
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
音がする	「ボコボコ」という音はタンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル、抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。13ページ 14ページ
臭いが出る	抗菌気化フィルター、吸気グリル、トレイが汚れている。	抗菌気化フィルター、吸気グリル、トレイのお手入れをしてください。13ページ 14ページ
トレイ内の水に色がついている	抗菌気化フィルターの顔料が色落ちしたものです。(初めて使用したときだけです)	異常ではありません。また、人体には影響ありません。気になる方は、抗菌気化フィルターを水洗いしてください。8ページ

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原　因	処　置　方　法
40 50 60 70(%) <ランプ点滅>	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。**(転倒自動停止装置が作動)**	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから運転 入/切スイッチを押し直してください。7ページ 10ページ
4 2時間 または 静音 省エネ 標準 <ランプ点滅>	室温異常(0℃以下または40℃以上)になったため自動停止した。**(室温異常自動停止装置が作動)**	設置方法を確かめ、運転 入/切スイッチを押し直してください。7ページ
給水 と チャイルドロック <ランプ点滅>	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ

処置を行なっても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。18ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

○抗菌気化フィルターは、３シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(１シーズン６カ月、１日８時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に１回クエン酸洗浄した場合)。クエン酸洗浄なしでは１シーズンです。17ページ
なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。
また、３シーズン以内でも汚れや水アカが落ちなくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。交換せずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

○防カビフィルターは、汚れが落ちなくなったら交換をおすすめします。
交換せずに使用を続けると、カビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。13ページ 14ページ

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

1. 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。終了後再度、電源プラグをコンセントに差し込み、**お手入れリセットボタンを約3秒間押し、リセットしてください。** 12ページ
2. 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。
また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

消耗部品の材質
○抗菌気化フィルター・・・プラスチック(PE)
○防カビフィルター・・・プラスチック(PP)

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼をおすすめします(有料)。

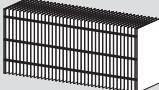
愛情点検 長年ご使用の加湿器の点検を！

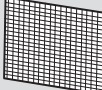
こんな症状はありませんか	・水漏れする。 ・本体が異常に熱い。 ・電源コードに触れると通電したり、しなかったりする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型名	HD-500A		
電源電圧及び周波数	AC100 V　50/60 Hz		
加湿運転	標　準	省エネ	静　音
消費電力（最大）	168/168 W	25/25 W	161/161 W
加湿量（最大）※1	500 mL/h	365 mL/h	375 mL/h
連続加湿時間※1	約8.0 時間	約11.0 時間	約10.7 時間
運転音　最大	31 dB	31 dB	20 dB
運転音　最小※2	15 dB	15 dB	15 dB
タンク容量	4.0 L		
適用床面積　木造和室	14 m²(8.5 畳)		
適用床面積　プレハブ洋室	23 m²(14 畳)		
外形寸法(高さ×幅×奥行)	375 mm×375 mm×190 mm		
質量	約4.4 kg		
電源コードの長さ	2.0 m		
安全装置	転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置		

※1 加湿量は室温20℃・湿度30%の条件のときです。
※2 最小運転音は湿度50%設定時のときです。

部品のご注文について

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。18ページ

別売部品（部品の価格や仕様は予告なく変更することがあります　その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください）

＜消耗部品＞

【クエン酸】
315円
(本体価格 300円)
商品コード：H010010

【抗菌気化フィルター】
1,785円
(本体価格 1,700円)
商品コード：H060509

【防カビフィルター】
472円
(本体価格 450円)
商品コード：H060379

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください

保証について

●保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター、防カビフィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。
他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。15ページ 16ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　名：ダイニチ加湿器
型　名：HD-500A
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○修理などで加湿器を運搬するときは、必ずタンク・トレイ内の水を捨ててください。
運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
<受付時間>
11月～ 1月 9：00～19：00
(土は～17：00、日・祝日・年末年始は休み)
2月～10月 9：00～12：00、13：00～17：00
(土・日・祝日は休み)

インターネットからのお問い合わせ
<24時間受付>

「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

※型名(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1.ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2.次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①修理やその確認業務を委託する場合
②法令の定める規定に基づく場合
3.個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

加湿器保証書

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
3．ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
5．保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
（ロ）お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク、タンクキャップの損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、ほこりなどによる故障や損傷
（ニ）消耗部品（抗菌気化フィルター、防カビフィルター）の取り替え
（ホ）定期点検の費用
（ヘ）一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
（ト）本書の提示がないとき
（チ）本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（18ページ）をご覧ください。

型　　名	HD-500A	製造番号	
お客様	お名前　　　　　　様 ご住所　〒 電話番号　（　　　）　　−		
お買い上げ日	年　　月　　日	販売店名・住所・電話番号	
保証期間 （お買い上げ日から）	本体３年間		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い

お手数ですが、お名前、ご住所、電話番号をわかりやすくご記入ください。

ご販売店様へ

お買い上げ日、製造番号、貴店名、住所、電話番号を必ず記入し、（記入のないときは無効になります）本書をお客様へお渡しください。

修理メモ

〒950-1295 新潟市南区北田中 780-6
お客様ご相談窓口 TEL 0120-468-110
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

HD-500A・10・07・0,000・1